

釧路、根室っ子 躍動に期待

「自分がテレビで見て憧れたように、自分もオリンピックに出場して憧れの存在になれるように頑張る」と佐藤選手

「ソチ五輪に最年少で出場してから、これまで日本代表で戦えていることを自信にして、若手の力も借りながら頑張る」と浮田選手



女子アイスホッケー 佐藤選手 高い守備力と判断力／浮田選手 エースとして存在感

スピードスケートでは22年北京大会で根室市出身者として初のメダリストになった別海町出身の森重航選手（20）にオカモトが2大会連続のメダルを狙う。女子も厚岸町出身の佐藤綾乃選手（20）にANAが、18年平昌大会での金、22年の北京大会での銀に続く3大会連続のメダル獲得に挑む。

カーリングでは釧路市出身の小林未奈選手（20）を擁するフォルティウス（札幌）が、昨年12月の五輪最終予選を勝ち抜きチームとして初、日本勢としては1998年の長野大会から8大会連続となる五輪出場を決めた。

複数競技で五輪の舞台に立つ釧路、根室っ子。世界最高峰の舞台での躍動に期待が高まる。

（鈴木大聖）

一方の佐藤選手は、23年8月の高校3年時に初めてフル代表に選出。経験を重ねて腕を磨き、今回が初の夢舞台となる。高い守備力に加え、好機で前へ飛び出し得点を奪う判断力も備え、今や日本に欠かせないDFに成長している。両選手の活躍が悲願のメダル獲得の鍵を握る。

浮田選手は、2014年ソチ大会に最年少で出場。18年平昌大会、22年北京大会も経験し、今回が4大会連続4度目の五輪となる。男子にも匹敵するシュートスピードと、ドライブで切り込む高い個人技を武器に日本のエースFWとして存在感を示し続けた。

注目は釧路在住、関連選手が数多くを擁するアイスホッケー女子日本代表。中でも主力として期待されているのが、昨年2月の五輪最終予選などで得点源の第1セットとして活躍した、いずれも釧路のDaishiroに所属するFW浮田留衣選手（20）に新和産業と、DF佐藤虹羽選手（19）に釧路公立大2年1組の2人だ。

4年に一度のウィンタースポーツの祭典、冬季五輪が2月、イタリア北部のミラノとコルティナ・ダンペッツォを舞台に開かれる。釧路、根室ゆかりの選手の活躍が期待される大舞台の開幕まで、いよいよ約1カ月となった。

ミラノ・コルティナ五輪まで1カ月